

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・15〉	いわき市立	赤井	小学校
〈実施日〉	平成 28 年 2 月 16 日 (火)			
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ( )			
〈実践内容〉	<p>○平成27年度文科省委託事業「科学的な理解をすすめる放射線教育セミナー」 講師：いわき明星大学教養学部 特任教授 石川 哲夫 先生</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小学生向け新放射線読本使用</li><li>・対象児童：6年生 58名 * 6年児童は、1年生の時に震災を経験。外での遊びを制限されていた。</li></ul> <p>(1) 自然界の放射線について (自然放射線)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・宇宙から降り注いでいる…宇宙線</li><li>・空気中…ラドン</li><li>・大地から…土の中のカリウム</li><li>・塩…塩化ナトリウム、わかめ</li><li>・北投石…ラジウム温泉、ラドン温泉 など</li></ul> <p>↓ 何が危なくて何が危なくないか。数値だけで判断するのか。</p> <p>(2) 放射線の性質、放射性物質・放射能・放射線の違い、放射線の利用</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・放射線…<math>\alpha</math>波、<math>\beta</math>波、<math>\gamma</math>波、中性子線 →目には見えない、肉は通るが骨は通らない (レントゲンに利用) * 金属板や板、ブロックなどを使用し、放射線の透過力について具体的に説明あり。</li><li>・100msvから人体に影響が出ると言われているが、そこまでデータはない。危険かわからない。</li></ul> <p>↓ 緊急時に放射線から身を守る方法、普段からできる健康な体づくり</p> <p>(3) 放射線が飛ぶようすを見よう</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・霧箱実験</li></ul>			
〈成果〉	<p>○ 担任が副読本を使用して授業を行うよりも、実物を見ながらさらに詳しいお話を聞けたり、実験を行ったりすることで、児童の関心や理解がより深まった。</p> <p>○ 授業後の児童の感想から、「放射線は怖いもの」という意識から、普段の生活の中にもあるもの、「正しく知って正しく恐れる」ことが大切だという意識に変わっていたことがわかった。</p>			
〈課題〉	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学級活動で各学年2時間ずつ位置付けてはあるが、「どの程度まで教えるか」が明確になっていない。学年やブロックごとに、ここまで教えるという具体的な基準が全県統一で示されているとよいのではないか。</li><li>● 九条児童も在籍しているため、そういった児童の心情にも配慮して、今後の福島県のことについても教えていくことが必要。</li></ul>			
資料作成担当者職 (教諭) 氏名 (土屋 真奈美)	学校電話番号 (25 - 2897)			